

## 「星ふる学校・くまの木」

### 総務教育厚生常任委員会視察

10月2日～3日栃木県塩谷町にある

「星ふる学校・くまの木」を視察訪問しました。廃校を利用し、宿泊や自然体験ができるこの施設はNPO法人「塩谷町

旧熊ノ木小学校管理組合」が運営しています。現在の事務局長は神奈川県から家族で移住してきた子育て中の女性です。

「旧熊ノ木小学校」は平成11年3月、一・二四年の歴史に幕を閉じました。

地域のシンボルがなくなる寂しさはどこも同じです。



『校舎の活用については、地域の振興を図るため地域住民と協議することを町が約束し、地域の人々は自分たちの課題としてとらえ立ち上がりました』

その後、利用委員会、運営委員会と話し

合いを重ね、廃校から新たなスタートをきりました。それが、宿泊と体験学習ができる施設の運営でした。

現在は職員11名(常勤・パート)ボランティア四〇名が参加し様々な体験プログラムが取り組まれています。

年間を通じて一万人以上の利用があり経営は順調にいつているそうです。

視察終了後、この「くまの木」に宿泊し、地元で生産された野菜を使つての料理を味わいました。

皆野町旧金沢小学校の廃校利用について、地域住民の声をよく聞きみんなで話し合い、金沢地域ならではの活用方法を考えることが大切だと思います。



校庭にある天体ドーム

## 「地域循環型農業」

二日目の視察は高根沢町、水田が広がる米を中心とした産業がさかんな町です。

ゴミを減らす町独自の施策で「生ゴミ」

を燃やさず堆肥にする仕組みを作りました。「生ゴミ」は生ゴミ専用の袋(有料)一枚(二円)に入れて出し、高根沢町土

づくりセンター施設に運ばれ、畜産糞尿やモミガラといっしょにまぜ「完熟堆肥」を作ります。その堆肥は農業者の水田へ

と散布されたり、一般にも販売されています。こうして「手間暇かけて」循環型

農業が行われています。

みな民報に連載された「秩父事件と皆野町」「皆野町の秩父事件」が冊子になりました。

1部 300円です

注文は常山 知子まで 62-6733

## 新米議員のひとりごと

常山 知子

久しぶりに私のおばさんを訪ねました。一人で留守番をしていました。おばさんはもうすぐ95歳になります。先日の慶寿の祝いに招待されました。「行ったの?」と聞くと「行かなかつた。もう同級生は誰もいないから・・・」とちよつと寂しそう。でも95歳とは思えない元気さです。今日もゲートボールをやりに行ってきたそうです。足が丈夫でしつかりと歩きます。おばさんは私に一気にしゃべります。結婚したころのこと。夫を兵隊にとられ8ヶ月の子供と大変だったこと。でも親戚や近所の人がない人で親切にしてくれてありがたかつたこと。子供たちもみんな元気でやっているので安心だ。今、とても幸せだ。「でも戦争だけはやだな。」と戦争中、苦勞したおばさんの重い言葉です。私の心に刻まれました。

大企業の内部留保を賃上げに!

原発ゼロこそ経済に展望ひらく!

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい

町議会議員 常山 知子

電話・FAX 62-6733